

委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

文教社会

12月13日(火)に議案3件、請願3件の審査を行いました。

地域センター条例等の一部改正と地域センターの使用料値上げ中止を求める請願
委員 今回の改定によって、全体として利用者にとって負担増になる部分は金額でどのくらいで、平均パーセンテージはいくらか。また、全体として何%から、最高で何%までの値上げになるのか。
市民部次長 今回の改定により対象施設全体で見ると、年間でおよそ580万円の増加となります。平均で何%の改定になるかについては、地域センター、健康福祉会館、わくわくプラザのセンターグループが107・0%、公民館、市民フォーラム、文学館の原町田グループは114・3%の改定率なので、全体あ

るいは平均ということになるとこの数値かと思えます。それから、地域センター条例に基づく施設等に関して、時間単価を均等化するように見直しているもので、午前が大きく上昇しています。今回の改定で一番大きいのは忠生市民センター等のホールで500円の上げ幅となっています。率とすると約30%なので、全体では数%から30%までの数値となっています。
委員 人件費以外のコストで、値上げする根拠としてい

るものは何か。
市民部次長 例えば、生涯学習センターのビル管理負担金と市民フォーラムの施設管理業務委託について人件費単価の増額をそのまま反映してかなり増額されています。特にこの辺の物件費の増額が原

総務

12月14日(水)に議案8件、請願1件の審査を行いました。

リニア中央新幹線小山田立坑についての請願
委員会では採択すべきものと決するも、本会議では賛成少数で不採択。
委員 住民合意がなされないまま売却に踏み切ったとなると、すぐ問題だと思う。それはある程度住民合意をしてからの話であるというスタンスは崩してほしくないが、その見解はどうか。
政策経営部長 上小山田の市有地売却については、基本的には市としてリニアの事業には協力していきましようというスタンスの上で、今近隣住民から寄せられている声に対して、JＲ東海には最善の方法はどういうことかということをごちからも検討していただいていますので、それ

をいづれ地元にも相談していくことになりましたが、そこである程度の合意ができませんと、市として次に行くというのはなかなか難しいのかなと考えています。
委員 地下水の件について、JＲ東海等も含めてどのような状況にあるのか。
未来づくりプロジェクト担当課長 水については事前にJＲ東海でボーリング調査をして、分析しています。水がれの可能性はかなり少ないだろうという分析結果が出ています。ただ、そういった中でも、小野路の立て坑については、立て坑の非常口の周りから1キロの範囲の方々の井戸を調査しています。また、現場に井戸を掘って水位も確認しています。万が一、井戸が枯れた場合についても、JＲ

東海では工事によって井戸に影響が出たということであれば補償していきたいと言っていますので、市からも要請しながら、これからも工事をやってもらおうと考えています。
町田市観光まちづくり基本方針(素案)の作成
期間は17年度から30年度の14力年。
委員 この後、基本計画を策定する予定はあるか。
産業観光課長 確かに計画がないとなかなか進んでいかないというところもあります。しかし、町田市の観光はどこを目指しているのかということ

建設

12月13日(火)に議案4件、請願1件の審査を行いました。

分かりやすい料金体系へ公園条例の一部改正
委員 今回のこの主要公園駐車場の料金改定によって、どれだけ収益が上がるのか。
公園緑地課長 15年度現在の実績で、支出が収入を1200万円ほど上回っている状況です。今回の改定や料金所の人員配置などいろいろな改善策をとることによって、収入と支出のバランスがほぼとれると想定しています。
委員 これまで無料であった1時間から1時間半までの利用者が有料になるが、駐車場利用者の中でどの程度の割合を占めているのか。
公園緑地課長 2割ほどです。全体で27万6千台ほど利用しているので、5万5千台程度になります。

新たなごみの資源化施設整備工事請負契約
契約金額292億円。
委員 落札率が99・96%というところで、予定価格に対する比率が大変高いが、どのよ

うに考えているか。
循環型施設整備課長 コンサルタントに委託して、建設費の妥当性等について確認するなど、適正に予定価格を設定しているため、入札価格が近かったと理解しています。
委員 この施設の能力は、ごみが40%削減されたときの数値と考えているが、目標を達成しなくても問題ないのか。
循環型施設整備課長 減量が達成できなかったとしても、ある程度施設に余裕率があるため、安定的な処理ができるものと考えています。
委員 オペレーティングの部分も含めて、市内業者の活用をどう進めていくのか。
循環型施設整備課長 今後、市内業者の活用をもっと上げていくような形で協議や働きかけをしたいと考えています。

健康福祉

12月14日(水)に議案8件、請願3件の審査を行いました。

国民健康保険条例の一部改正と国民健康保険税の2年連続値上げの中止を求める請願
議員間討議が活発に行われる。
委員A 我々も値上げを多分誰一人として大賛成の方はいないと思うが、委員は値上げするよりも、もっと一般会計からの繰り入れをしたほうがいいという政策的な判断をしたという理解でいいのか。
委員B 結論から言うところとおりである。
委員A 一般会計から求めるとその向こうには42万人の市民がいるが、そこから求めるほうが適切だという結論に達したということではないのか。
委員B 確かに国民健康保険に加入している市民は3割

弱ほどで、ほかの加入していない市民にその負担を求めるのかという意見だと思うが、国民健康保険制度は国民皆保険制度の根幹であり、生涯のうち誰しも一度は加入する性質のものである。したがって、決して国保加入者のためだけのものではないと広く捉える、考える必要があると判断する。
委員A どちらかと言えば値上げされないほうがうれしい。ただし、町田市全体として、自治体の運営を考えたときに、厳しい値上げをお願いするが、都や国の負担も含めて上がらないように努力するのが市の役目なので、そこをしっかりと支えなければなら

ない。一般会計からどんなに繰り入れたら、この仕組みだけではなく、町田市自体が破綻してしまう危険があるので議員間討議をさせてもらった。
委員B 委員の言う意味も分かるが、国保財政が破綻する前に市民の家計が破綻しては元も子もない。
委員A 一般会計の繰り入れによって破綻が起るという可能性だって考えられる。
委員B 町田市の場合は、国から直接6億円を超える保険者支援金が出ている。それを充てるだけで値上げをせずに済むので、その方策を優先するべきだと考える。
委員A 保険者支援金を充てなかった理由を担当者に再度答弁して欲しい。
保険年金課長 一般会計から多額の繰り入れをしていますので、保険者支援制度でいただいたものは、医療分や他の拠出金に充てています。